



大洲のうかい

開催期間
6月1日～9月20日

淀川を舞台に繰り上げられる
 「合わせうかい」の醍醐味。
 目の前の囃と職匠の静やかな競演は、
 しばし時を忘れる。

特集
おいでよ！女性消防団





地域に密着した組織としてまちの安全安心を守る消防団。その中で女性としての立場で消防団活動に参加する女性消防団についてご紹介します。

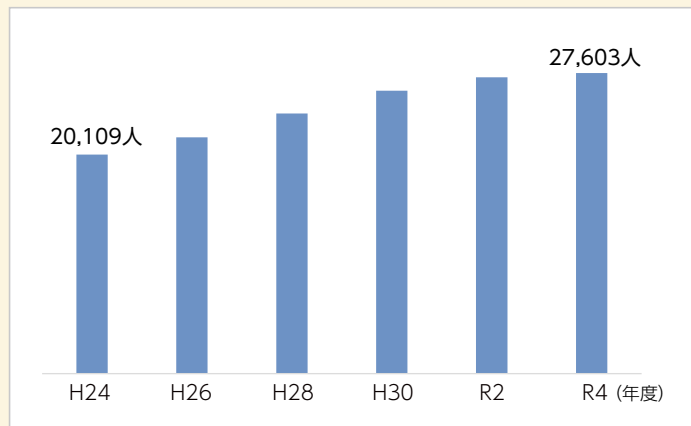
女性消防団員が増えています

全国的に過疎高齢化が進む中で、消防団員全体の数は減少し、平成元年に100万人以上いた消防団員も令和4年度には80万人を下回っています。

一方で、女性消防団員の数は右のグラフのとおり増加しています。令和4年度現在で27,603人となっています。大洲市でも消防団に入団する女性は増えていて、特に平成30年7月豪雨災害以降に増加傾向にあることから、災害を経験し防災への意識が市民全体で高まっていることがうかがえます。

※大洲市では女性の消防団員は、それぞれの地域の分団が女性だけで構成する「女性分団」のどちらかに所属することになります。ここでは女性分団（員）を女性消防団（員）として記事を作成しています。ご了承ください。

全国の女性消防団員数の推移



総務省資料より

大洲市の女性消防団員は災害時から1.5倍に



※上記2つのグラフは女性団員の総数



なぜ女性消防団員が必要なのか

消防団の活動は、災害時の消火活動や救助活動だけではなくありません。平常時には防災に対する啓発や消防署などが開催する救命講習のサポートなども活動に含まれます。その中で、女性ならではの視点や感性を活かしながら活躍してもらうことが期待されていて、全国で女性団員のいる消防団は、令和4年度で全体の76.5%を占めています。



訓練風景



救命講習



YOSAKOI祭りにも出演しました



被災時の支援物資仕分け



産業フェスタにて



リスクウォッチとは？

女性消防団の活動の一つに、「リスクウォッチ」の講習があります。

リスクウォッチとは、アメリカで考案された危険を監視し回避する能力を身に付けるプログラムです。女性消防団のみなさんは、大洲市内の保育所や幼稚園、小学校などで劇を演じ、子供たちにわかりやすく危険について教えています。



小学校でのリスクウォッチ講習



練習にも熱が入ります

大洲の未来とともに

消防団は地域に密着した消防機関として、近年の異常気象によるゲリラ豪雨などの自然災害や各地で起こりうる火災への初期対応など、地域住民の生命・財産を守るために活動しています。そのような中、女性消防団は救命救急講習やリスクウォッチ講習による防災教育、災害時の後方支援などで幅広く活躍しています。

また、男性では気づかない女性ならではの視点できめ細かな気配りができ、地域の方のみなさんの安全・安心を守るためには欠かせない存在です。

多くの女性に入団していただき、一緒に大洲市の未来を守っていきましょう。



大洲市消防団
団長 矢野 ^{まさかず}正祥 さん



中野 ^{ふみか} 郁香 さん

公務員
令和4年度入団

以前から消防団員である夫の真剣な活動ぶりを目にしていて頼もしさや誇らしさを感じていたこともあり、私も女性消防団に入団しました。みなさんに幅広く防災意識を高めてもらえるように、今後もリスクウォッチなどの啓発活動に取り組んでいきたいです。



わたしたちも女性消防団です



坪田 ^{あやみ} 彩未 さん

看護師
令和5年度入団

私の母も女性消防団員で活動していて、救命講習で学校に来てくれた時は「かっこいい！」とその制服姿に憧れていました。

まだ、社会人1年目で職場でも消防団としてもできることは少ないかもしれませんが、私の仕事や活動で大洲に暮らすだけかが笑顔になれたら嬉しいです。

明るく楽しくが活動のモットーです

女性消防団は、様々な年代や立場の違う女性たちが集まって活動していて、いつも笑い声の絶えないメンバーです。女性消防団には女性のソフトな面を生かした災害への啓発や消防団のイメージアップが期待されていて、私自身も何か地域の役に立つことができないかとの思いで消防団に入りました。

これまで地域のみなさんにいろいろとお世話になったご恩を、消防団活動を通して、少しでも返していきたいと思っています。

私たちと一緒に、明るく楽しく活動しましょう。



大洲市消防団女性分団
分団長 二宮 ^{さゆり} 小百合 さん

女性消防団Q & A ご質問にお答えします

Q

災害時には一般の消防団と同じように消火や救助の活動をするのですか？

A

災害発生時に女性消防団は消火や救助活動ではなく、避難所での活動や後方支援の仕事をしてもらうこととなります。

Q

消防団はボランティア活動ですか？

A

市から年間の報酬が支払われるほか、出動などに対しての手当もあります。また、一定期間勤務して退職する際には退職報奨金もあります。

Q

消防団の活動中にケガをしたら？

A

活動中に負傷した場合は、公務災害としてきちんと保障されます。

Q

現在、子育ての真っ最中です。興味はあるけど難しいかも。

A

すべての活動に参加する必要は無く、団員同士でフォローし合っています。できる範囲での活動から始めてみましょう。

Q

職場の理解が得られるか心配です。

A

消防団員の多くが企業などで働きながら消防団活動にも従事しています。市でも事業所に一層の理解と協力を求めようと「消防団協力事業所表示制度」を実施しています。

Q

入団資格について教えてください。

A

大洲市に居住、または勤務し、18歳以上で健康な人なら基本的に入団可能です。詳しくは大洲市危機管理課にお問い合わせください。

一歩を踏み出す少しの勇気と興味があれば大丈夫
みなさんの入団をお待ちしています！

問い合わせ・申込先：大洲市役所危機管理課消防係 ☎0893-24-1742